

# 指導事例の紹介

# 国語

- 読み書き
- かるた
- 漫画
- 物語文
- 説明文

## 読み書き



単語や文の  
読み書きの習得

## 漫画



物語文の読みの  
素地を培う

## かるた



読むこと聞くことの  
素地づくり

## 説明文



問いにそって  
挿絵や文を読む

## 物語文



いつ、だれが、なにをしたか、  
気持ちなどを読む

## 国語の指導事例に掲載されている内容（目次より）

- 1 本教材作成の目的
- 2 取り上げている内容
- 3 教材の特長
- 4 めざす子どもの姿
- 5 学習ワーク教材について
  - (1) 取り上げている具体的内容
  - (2) 学習ワークの目次一覧
- 6 学習ワークの概要
  - (1) 読み書き
    - ① 読み書き教材の目的と内容
    - ② 基礎基本の習得をめざす学習ワークの工夫
    - ③ 読むこと書くことのねらい
    - ④ 読むこと書くことの学習の流れ

【 学習ワークの構成と指導のポイント 】

【 学習ワークの縮小一覧と学習の流れ 】

    - 基本教材
    - 習熟教材
  - (2) かるた
    - ① かるたのよさ
    - ② かるた教材の活用

【 学習ワークの縮小一覧 】
  - (3) 漫画
    - ① 漫画学習の意義
    - ② 取り上げる漫画教材の要件

【 学習ワーク構成と指導のポイント 】

【 学習ワークの縮小一覧と学習の流れ 】
  - (4) 説明文
    - ① 説明文学習の意義
    - ② 説明文教材に取り上げた要件
    - ③ 説明文教材の編成の3段階
    - ④ 基礎基本の習得をめざす学習活動の工夫

[1段階 説明文の読みの素地を培う指導]

    - ① 説明文の読みの素地を培う指導について
    - ② 取り上げる内容

【 学習ワークの構成と指導のポイント 】

【 学習ワークの縮小一覧と学習の流れ 】

[2段階 はじめて出会う説明文の指導]

    - ① はじめて出会う説明文の指導について
    - ② 取り上げる内容
    - ③ 基礎基本の習得をめざす学習ワークの工夫

【 学習ワークの構成と指導のポイント 】

【 学習ワークの縮小一覧と学習の流れ 】

[3段階 やさしい説明文の指導]

- ① やさしい説明文の指導について
- ② 取り上げる内容
- ③ 基礎基本の習得をめざす学習ワークの工夫
  - 【 学習ワークの構成と指導のポイント 】
  - 【 学習ワークの縮小一覧と学習の流れ 】

# 国語の学習ワーク

## 単語や文の読み書き、漫画、説明文、物語文

### 1 本教材作成の目的

本教材は、文字の読み書きに出会った学習に遅れがある子どもたちが、一音一語の単語から多音節の単語、促音や拗長音等のある単語の読み書きから、簡単な二・三語文、簡単な説明文を読めるようになるまでの学習内容を細かい段階で配列したものである。

### 2 取り上げている内容

子どもに身近な生活の中から言葉を取り上げ、将来の学習の基盤となる内容を重点化し、子どもが学びやすいように題材化してスモールステップで取り上げている。

取り上げている内容は次のようなものである。

読み書き 教材	基本 教材	一音一語の単語から多音節の単語、促音や拗長音等のある単語、そして、二語文、三語文を取り上げ、言葉の理解とともに、読み書き、簡単な文型の理解を目的としている。
	習熟 教材	基本教材の習熟を図るために設定し、自分のことや家や学校に関わる言葉等、子どもの生活に身近な言葉を取り上げ、単語や文の読み書きを広げることを目的としている。
かるた教材		読み札を読んだり聞いたり、絵札を見て内容を捉えたり、聞いた言葉とつないだりして、聞く、読むことに慣れ親しませ、覚えた言葉を生活のなかで活用できるようにすることを目的としている。
漫画		登場人物や場面、会話や心情等に着目して4コマ漫画を読み、物語文の読みの素地を培うことを目的としている。
説明文1		だれ、いつ、どこ、何等の問いに、挿絵を基に、答えたり、答えを表したりすることを目的としている。
説明文2		題名にそって、読み進めながら、初歩的な説明文を読み取り、絵や言葉で表すことを目的としている。
説明文3		問題提示文を捉え、問いを基に、読み取ったことを絵や言葉で伝えることを目的としている。
物語文		登場人物や場面（いつ、どこ等）、登場人物のしたこと、会話や心情等を読み取り、物語のあらすじ等を言葉や挿絵で伝えるようにすることを目的としている。

※ 物語文の学習ワークと指導事例集は今後掲載予定、ホームページにてお知らせします。

### 3 教材の特長

学習に遅れのある子どもが意欲的に学び、着実に力を身につけるために、本教材は、次のような点から教材作成の工夫を行っている。

[確実な内容の定着を目指す系統性と連続性を重視した内容の構成]

- 学習内容を確実に理解するように、細かい内容を系統的につなげて連続させながら学習の流れを構成する。

[可能な限り自力解決に向かうような教材化の工夫]

- 可能な限り自分の力で取り組んでいけるように、絵、言葉や文カードで手立てを講じて、子どもの学びの難度を低くした学習ワークを配列する。

[学習に期待感をもつようにワンポイントの課題]

- 「できそうだ」「やってみたい」という想いを抱けるように、絵や言葉等を手がかりに解決への見通しをもてるようにし、分かりやすい設問のワンポイントの内容の提示をする。

[繰り返しと変化の配列]

- 確かな学習内容の習得と学習の広がりを得るための繰り返しと変化のある配列をする。

[子どもの学習スタイルに合う学習ワーク]

- 子どもに合った教材を取り上げて、子ども一人一人の学習ワークを編成する。
- ※ 学習ワークとは、一人一人が最小限の支援で、自力で課題を達成していくように、子どもの学びに合うように取り上げられる内容の系統性をもたせたスモールステップの教材

### 4 めざす子どもの姿

本教材は、次のような子どもの学びの実現をめざして作成している。

- 子どもが、「できそうだ」「やりたい」と意欲をもって取り組む姿がある。
- 学習の目的をもつことができる。
- 挿絵や言葉等を手がかりに解決への見通しをもち、自力解決ができる。
- 学習の達成感を感じ、その子なりの学びができる。
- 学習に連続、発展して取り組み、学習の定着を図ることができる。
- 成就感を味わい、次の学びへの期待感を抱くことができる。

## 5 学習ワーク教材について

### (1) 取り上げている具体的内容

読み書き		かるた
<b>基本教材</b> 身近な生活の言葉を取り上げ、読み書きの習得をめざす。 <ul style="list-style-type: none"><li>・一音節～三音節の単語</li><li>・濁音、促音、長音、拗音等のある単語</li><li>・二語文、三語文</li><li>・多語文（説明的文）</li></ul>	<b>習熟教材</b> 身近な生活の言葉を取り上げ、読み書きの習熟をめざす。 <ul style="list-style-type: none"><li>・多音節の単語、二語文、三語文、多語文等</li><li>・からだ</li><li>・いろいろななまえ</li><li>・おうち</li><li>・がっこう</li><li>・くだもの</li><li>・あいさつ</li></ul>	読むことと聞くことの素地を培う。言葉の理解を広げる。 <ul style="list-style-type: none"><li>○ 一斉学習とする。<ul style="list-style-type: none"><li>・絵札を読む。</li><li>・読み札を音読する。</li><li>・絵札と読み札を合わせる。</li></ul></li><li>○ 小グループとする。<ul style="list-style-type: none"><li>・読み手になって、読み札や絵札を読む。</li><li>・読み手の言葉を短期記憶して、絵札や読み札を取る。</li></ul></li><li>○ 一人とする。<ul style="list-style-type: none"><li>・読み札と絵札を合わせる。</li></ul></li></ul>

4コマ漫画
最小限のストーリーで、だれが、いつ、何をしたか、何を想っているか等を4コマ漫画から読み取り、物語文の読みの素地を培う学習として位置づける。 <ul style="list-style-type: none"><li>○ あらすじを捉える。</li><li>○ 登場人物と登場人物の動きを捉える。</li><li>○ 言ったことや会話を捉える。</li><li>○ 場面（時間、人の移動、場所の変化）を捉える。</li><li>○ 気持ち、想ったことを捉える。</li><li>○ 主題を捉える。</li></ul>

物語文
自作の物語文教材で、挿絵を読んだり、音読や読み書きを繰り返したりしながら、物語を楽しむ話を他の人に伝えようとする姿をめざす。 <ul style="list-style-type: none"><li>○ あらすじを捉える。</li><li>○ 登場人物を捉える。</li><li>○ 場面・情景を想い浮かべる。</li><li>○ 人物の会話と気持ちを読み取る。</li><li>○ 主題を読み取る。</li></ul> 等の初歩的な内容を理解する。

説明文		
説明文の簡潔な事柄の表現は、日常生活のなかで、目的にそって伝えるときに用いやすく生活に活かすことができる。子どもの生活を高めることにつながるために、細かい指導の段階を設け、説明文の読みを高める。		
<b>説明文の基礎</b> 主題の問いを基に対話をしながら、挿絵の事象を読む。 次の活動を取り上げる。 <ul style="list-style-type: none"><li>1 対話しながら読む活動</li><li>2 絵や言葉に話し話す活動</li><li>3 絵や言葉に話し伝える活動</li></ul>	<b>はじめてであう説明文</b> 主題の問いを基に、挿絵や文の教材を読む。 <ul style="list-style-type: none"><li>1 生活の事象を取り上げる。</li></ul>	<b>やさしい説明文</b> 主題にそって、問題提示の文と説明する文を読む。 <ul style="list-style-type: none"><li>1 生活の事象を取り上げる。</li><li>2 似通った題材を繰り返す。</li></ul>

※ 物語文の学習ワークは今後掲載予定、ホームページにてお知らせします。

(2) 学習ワークの目次一覧  
読み書き - 843ページ

ワークシート 総数 1480ページ  
ページ

基本教材		ページ
単語		200
1	一音節の単語	1-1~ 8 2-1~ 8
2	二音節の単語	1-1~ 8 2-1~ 8 3-1~ 8
3	三音節の単語	1-1~ 8 2-1~ 8
4	濁音のある単語	1-1~ 9 2-1~ 9 3-1~ 9 4-1~ 9
5	半濁音のある単語	1~ 9
6	撥音のある単語	1~ 9
7	促音のある単語	1-1~ 9 2-1~ 9
8	長音のある単語	1-1~ 9 2-1~ 9 3-1~ 9
9	拗音のある単語	1-1~ 9 2-1~ 9
10	拗長音のある単語	1-1~ 9 2-1~ 9
11	拗促音のある単語	1~ 9

文 147

[二語文]

1	なにを どうする	1-1~11 2-1~11 3-1~11 4-1~11
---	----------	--------------------------------------

[二・三語文]

2	だれが	1-1~10 2-1~10 3-1~10
3	いつ	1-1~ 9 2-1~ 9
4	どこ	1-1~ 9 2-1~ 9
5	なにで	1-1~ 9 2-1~ 9

[説明的文]

6	上、横 右、左、上、下、まん中	1-1~10 2-1~ 9
---	--------------------	------------------

習熟教材		ページ
体		90
1	体の名前	1~24
2	体の動き	1~18
3	体の働き	1-1~12 2-1~12 3-1~12 4-1~12

いろいろな名前 133

1	果物	1~19
2	野菜	1~31
3	動物	1~12
4	野原の生き物	1~20
5	文房具	1~23
6	教室の中	1~14
7	教室の名前	1~14

お家 50

1	朝	1~25
2	夜	1~25

学校 151

1	国語の時間	1~11
2	音楽の時間	1-1~11 2-1~11
3	体育の時間	1-1~11 2-1~11
4	休み時間	1-1~11 2-1~11
5	給食の時間	1-1~11 2-1~11
6	係の仕事	1-1~11 2-1~11
7	図工の時間	1~10
8	掃除の時間	1~10
9	調理の時間	1~10

果物 54

1	かき	1-1~ 6
2	きうい	2-1~ 6
3	みかん	3-1~ 6
4	めろん	4-1~ 6
5	もも	5-1~ 6
6	なし	6-1~ 6
7	いちご	7-1~ 6
8	ばなな	8-1~ 6
9	りんご	9-1~ 6

挨拶 18

1	挨拶の言葉	1-1~ 6 2-1~ 6 3-1~ 6
---	-------	----------------------------

基本教材

ページ

単語		36
1	一音節の単語	1~2
2	二音節の単語	1~4
3	三音節の単語	1~2
4	濁音のある単語	1~6
5	半濁音のある単語	1~2
6	撥音のある単語	1~2
7	促音のある単語	1~4
8	長音のある単語	1~4
9	拗音のある単語	1~4
10	拗長音のある単語	1~4
11	拗促音のある単語	1~2

文

26

[二語文]

1	なにを どうする	1~6
---	----------	-----

[二・三語文]

2	だれが	1~4
3	いつ	1~4
4	どこ	1~4
5	なにで	1~4

[説明的文]

6	上、横	1、2
	左、右、上、下、まん中	3、4

習熟教材

ページ

体		14
1	体の名前	1~4
2	体の動き	1~4
3	体の働き	1~6

いろいろな名前

22

1	果物	1~4
2	野菜	1~4
3	動物	1~2
4	野原の生き物	1~4
5	文房具	1~4
6	教室の中	1~2
7	教室の名前	1~2

お家

6

1	お家	1~6
---	----	-----

学校

28

1	国語の時間	1~2
2	音楽の時間	1~4
3	体育の時間	1~4
4	休み時間	1~4
5	給食の時間	1~4
6	係の仕事	1~4
7	図工の時間	1~2
8	掃除の時間	1~2
9	調理の時間	1~2

挨拶

4

1	挨拶の言葉	1~4
---	-------	-----

漫画		69
1	かいものにいったよ	1-1 ~ 4
2	さかなつり	2-1 ~ 4
3	ボールをけたよ	3-1 ~ 4
4	ぼうしがとんだよ	4-1 ~ 4
5	のはらであそんだよ	5-1 ~ 4
6	あめがふってきた	6-1 ~ 4
7	からすがおにぎりをとったよ	7-1 ~ 4
8	ほんをかたづけよう	8-1 ~ 4
9	みかんやまにいったよ	9-1 ~ 4
10	やまでおにぎりをたべたよ	10-1 ~ 4
11	チューリップがさいたよ	11-1 ~ 3
12	トマトができたよ	12-1 ~ 3
13	おかあさんのしゃしん	13-1 ~ 3
14	カップめんのつくりかた	14-1 ~ 5
15	めだまやきのつくりかた	15-1 ~ 5
16	かいもの	16-1 ~ 5
17	そうじ	17-1 ~ 5

説明文の基礎 [1]		36
1	きょうしつにだれがいますか	1-1 ~ 4
2	きょうしつになにがありますか	2-1 ~ 4
3	まきばになにがいますか	3-1 ~ 4
4	どこにいますか	4-1 ~ 4
5	なにをかいましたか	5-1 ~ 4
6	いくつありますか	6-1 ~ 4
7	なにをしていますか 1	7-1 ~ 4
8	なにをしていますか 2	8-1 ~ 4
9	なにをしていますか 3	9-1 ~ 4

はじめて出会う説明文		129
1	さらのうえになにがありますか	1 ~ 21
2	だれがなにをしていますか	1 ~ 18
3	かかりのしごとはなんですか	1 ~ 24
4	やさいさらだをつくろう	1 ~ 21
5	ふりかけおにぎりをつくろう	1 ~ 21
6	じこしょうかいをしよう	1 ~ 24

説明文の基礎 [2]		39
1	どこにありますか 1	1-1 ~ 4
2	どこにありますか 2	2-1 ~ 4
3	どこにありますか 3	3-1 ~ 4
4	どこにありますか 4	4-1 ~ 4
5	どこにありますか 5	5-1 ~ 4
6	どこにありますか 6	6-1 ~ 5
7	どうぐでなにをしていますか 1	7-1 ~ 4
8	どうぐでなにをしていますか 2	8-1 ~ 4
9	どうぐでなにをしていますか 3	9-1 ~ 6

やさしい説明文		180
1	なにがどこにあるかな	1 ~ 22
2	さけおにぎりをつくろう	1 ~ 24
3	おみせやさん	1 ~ 27
4	せんせいのしょうかいをしよう	1 ~ 32
5	たまごサラダをつくろう	1 ~ 22
6	ちょうりどうぐ	1 ~ 26
7	はこの中	1 ~ 27

説明文の基礎 [3]		48
1	どのおぼんにどんなおやつがありますか	1-1 ~ 4
2	だれがなにをかいましたか	2-1 ~ 4
3	どこになにがありますか 1	3-1 ~ 4
4	どこになにがありますか 2	4-1 ~ 4
5	どこになにがありますか 3	5-1 ~ 4
6	どこになにがありますか 4	6-1 ~ 4
7	どこになにがありますか 5	7-1 ~ 4
8	どこになにがありますか 6	8-1 ~ 4
9	めだまやきのつくりかた	9-1 ~ 4
10	かっぱめんのつくりかた	10-1 ~ 4
11	さんどいつのつくりかた	11-1 ~ 4
12	うどんをしよう	12-1 ~ 4

【 学習ワークの構成と指導のポイント 】（基本教材）

◎ 基本教材－三音節の単語

(1) 文字と音、ものをつなぐ。

① 文字・単語を読む。

② 絵と言葉をつなぐ。

「文字⇄音⇄もの」をつなげさせるために

- ・絵の名前を言わせる。
- ・文字や単語を読ませる。
- ・絵と言葉をつながせる。

(2) ものの名前を書く。

① 筆順どおりになぞり書き ② なぞり書き

書くことを定着させるために

- 書く文字を発語させながら書かせる。
- 繰り返し練習させ、筆順を確実に、覚えさせる。
- ものの名前や書いている文字を言わせて、単語を書けるようになるまで、繰り返し練習させる。
- なぞり書きと視写を取り入れて練習させ、見ないで書けるようになるまで取り組ませる。

③ 視写

④ ものの名前を書く。

(3) 音声や単語を記憶して書く。

① 読んで、記憶して書く。 ② 聞いて、記憶して書く。

聞く力、読む力、書く力を高めるために

- 繰り返し読ませたり、聞かせたりして、言葉の短期記憶をさせる。
- 聞いたり、読んだりしたとおりに発語を繰り返させ、音節の並びを捉えさせる。
- 書いた後で、声を出して読ませ、見直し修正させる。

※ 読む力、聞く力をつけるための「かるた」教材の活用（別紙に掲載）

かるたとりは、読み札を読むことでかな読みに慣れ、取り札で聞くことに慣れ、言葉の理解を広げることにつながる。

それぞれの段階のかるたを作成しているので、学習の定着のために取り入れると効果的な学習になる。（かるたの欄を参照）



◎ 基本教材－促音・拗音・拗長音等のある単語

(1) 音読を繰り返し、読みを確実にする。

				
は	ば	し	き	こ
つ	つ	つ	つ	つ
ば	た	ぼ	て	い

				
で	か	お	き	お
ん	ぼ	も	し	ち
し	ち	ち	や	や
や	や	や		

				
ち	ぎ	じ	や	き
ゆ	ゆ	ゆ	き	ゆ
う	う	う	ゆ	う
り	に	え	う	り
っ	ゆ	ん		
ぶ	う			

拗音や促音の音節の位置、文字のサイズと書く位置、半濁点や濁点の書き方等に注目させ、繰り返し練習させる。

(2) 文字の表記の仕方を捉える。

				
き	ぼ	べ	ま	ら
っ	っ	っ	っ	っ
ぶ	と	と	と	ば

				
で	か	お	き	お

				
ち	ぎ	じ	や	き
ゆ	ゆ	ゆ	き	ゆ
う	う	う	ゆ	う
り	に	え	う	り
っ	ゆ	ん		
ぶ	う			

濁音・半濁音・促音・拗音・拗長音等の読みは難しいので、日常、範読や言語模倣で慣れ親しませる。

(3) 促音・拗音・拗長音等のある音節の位置を捉えさせる。

				
ば	た	ぼ	て	い

				
で	か	お	き	お

				
			や	
り		え		り
っ				
ぶ				

繰り返し発語させて、促音・拗音・拗長音等のある音節の位置をつかませる。

(4) 促音・拗音・拗長音等の文字を捉えさせる。

				
で	か	お	き	お

				
で	か	お	き	お
ん	ぼ	も	し	ち
し	ち	ち	や	や
や	や	や		

				
ち	ぎ	じ	や	き
ゆう	ゆう	ゆう	き	ゆう
り	に	え	う	り
っ	ゆ	ん		
ぶ	う			

繰り返し発語させて、促音・拗音・拗長音等の文字に気付けさせる。

(5) 促音・拗音・拗長音等のある単語の音節を捉えさせる。

5	4	3	2	1

5	4	3	2	1

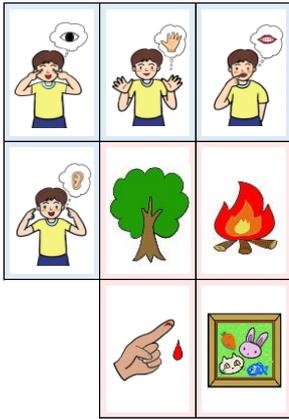
- ・単語を聞かせて言語模倣を繰り返させる。
- ・短期記憶を基に、書かせる。
- ・単語を読ませる。読んだ単語を記憶させ、書かせる。

[かるた教材の縮小一覧] (かるた)

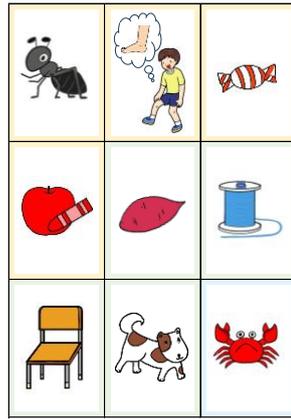
○ 基本教材

単語

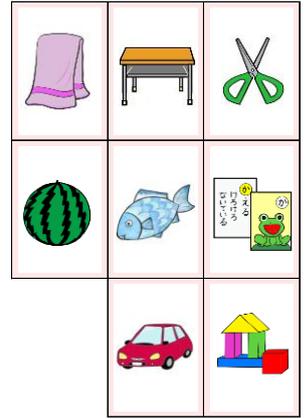
一音節の単語



二音節の単語



三音節の単語



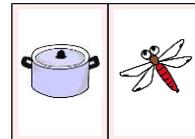
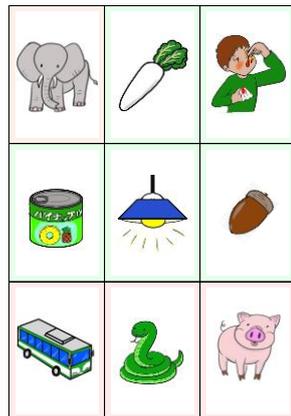
め	て	は
みみ	き	ひ
	ち	え

あり	あし	あめ
あか	いも	いと
いす	いぬ	かに

かめ	かお	かさ
----	----	----

たおる	つくえ	はさみ
すいか	さかな	かるた
	くるま	つみき

濁音



めがね	うさぎ	えのぐ
ひげ	ごはん	ざる
にんじん	すずめ	ぜんざい

ぞう	だいこん	はなち
かんづめ	でんき	どんぐり
ばす	へび	ぶた

なべ	とんぼ
----	-----

【学習ワークの構成と指導のポイント】（漫画）

漫画教材の指導では、次のことを指導のポイントとして学習を進める。

① あらすじをつくる。

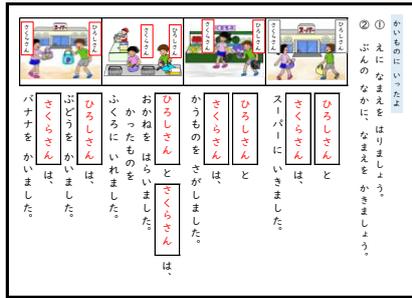
[かいものに行ったよ]



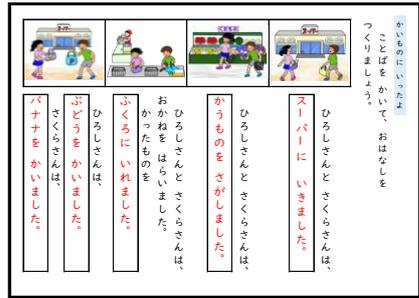
- 挿絵の登場人物、場面、場面の变化を見取らせて、話させる。
- 言葉を理解するまで音読させ、挿絵と文を合わせさせる。
- 話を想像して絵と文を並べさせる。

② 登場人物を読む。

[かいものに行ったよ]



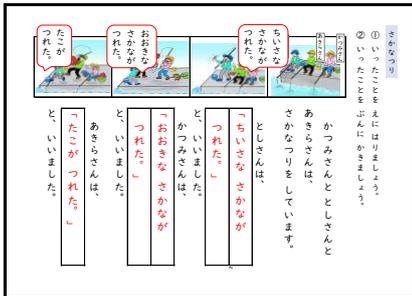
- 挿絵を基に、登場人物を捉えさせる。登場人物の名前を貼らせたり、書かせたりする。



- 登場人物に続けて、何をしたかを文に書かせる。

③ 登場人物が言ったことや会話を読む。

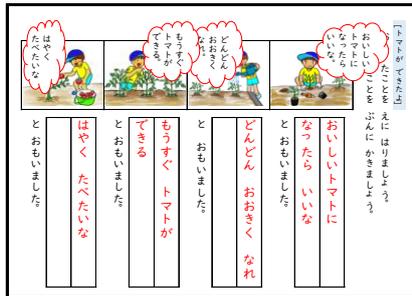
[さかなつり]



- 場面の状況を捉えさせ、挿絵に、言ったことを貼らせたり、文に書かせたりする。

④ 登場人物が思ったことを読む。

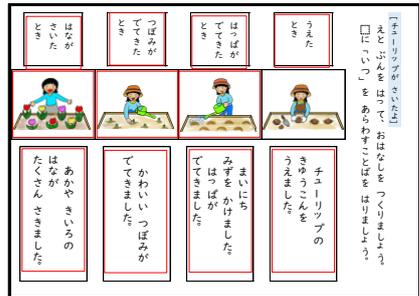
[トマトができたよ]



- 場面の状況を捉えさせ、挿絵に思ったことを貼らせたり、文に書かせたりする。

⑤ 「いつのこと」かを読む。

[チューリップがさいたよ]



- 絵と文を貼ってあらすじをつくらせる。いつのことかを話させたり、いつを表した言葉カードを貼らせたりする。

⑥ 場面を読む。

[みかんやまにいったよ]

みかんやまにいったよ。  
えにばめをあらわした。こぼを はりしよう。  
えに あうぶんを はりしよう。  
おぼのしのだいを はりしよう。

はるはるのふたを  
はるはるのふたを  
はるはるのふたを  
はるはるのふたを  
はるはるのふたを  
はるはるのふたを  
はるはるのふたを  
はるはるのふたを

⑦ 順序を読む。

[カップめんのつくりかた]

はじめに  
おゆを いれます。  
おゆを しめます。  
おゆを いれます。  
おゆを しめます。  
おゆを いれます。  
おゆを しめます。  
おゆを いれます。  
おゆを しめます。

はじめに  
おゆを いれます。  
おゆを しめます。  
おゆを いれます。  
おゆを しめます。  
おゆを いれます。  
おゆを しめます。  
おゆを いれます。  
おゆを しめます。

- 挿絵からあらすじを捉えさせ、場面に合う言葉を貼らせる。
- 挿絵の場面で、様子を表している文を選んで貼らせる。

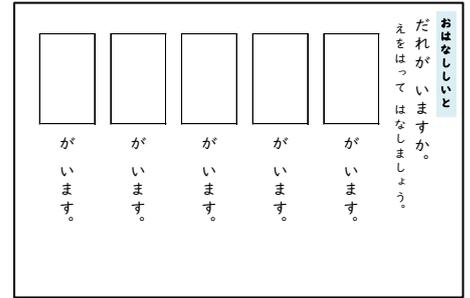
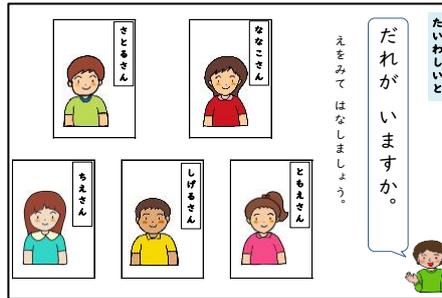
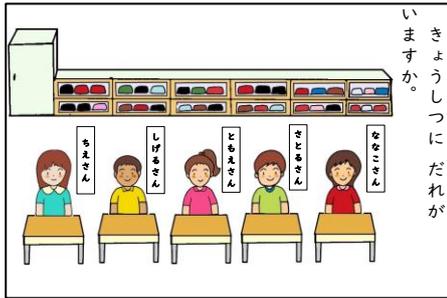
- 挿絵から、動きの順序を読み取らせる。
- 動きの順序を表す言葉を入れて文をつくらせる。
- 順序を表す言葉を使って動きの順序を表させる。

【学習ワークの構成と指導のポイント】(説明文の基礎)

それぞれの指導で、学習ワークを次のように構成し、指導のポイントを踏まえて活動を設定している。

ステップ1 問いに着目し、絵や言葉を読む活動

[きょうしつに だれがいますか]



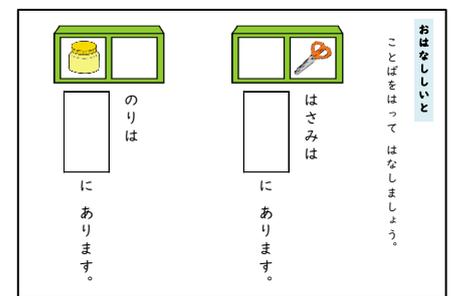
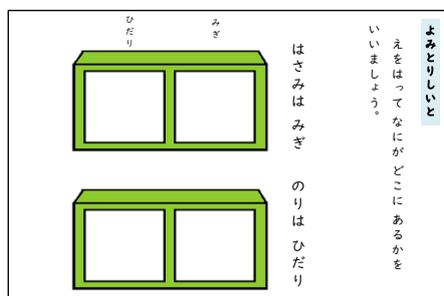
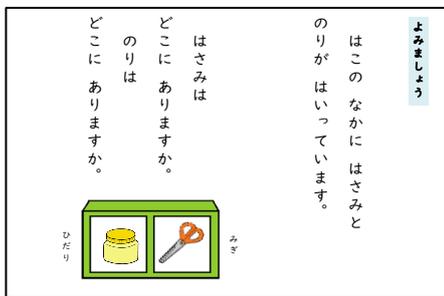
「だれ」の意味を捉えさせる。  
「だれがいますか」の問いに「だれがいます」と絵の人物を答えさせる。

対話の仕方を捉え、シートで対話させる。教師の「だれ」の問いに、人物の名前を答えさせる。

「だれ」の問いに対する答えをお話シートで話させる。問いに対する答えをまとめて話させる。

ステップ2 説明文を基に絵や言葉に表し、対話して話す活動

[どこに ありますかーみぎ、ひだり]



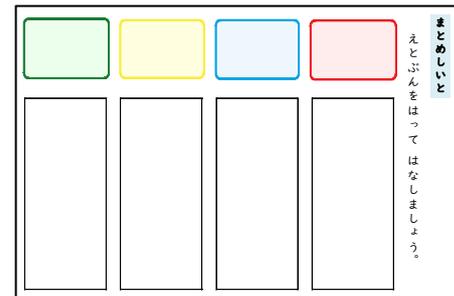
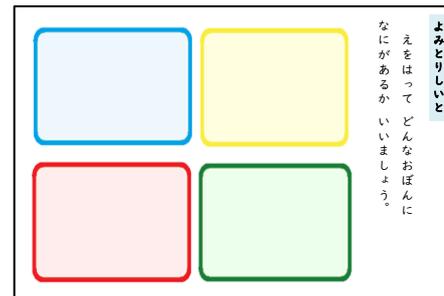
どこ：左右を捉えて読ませる。「どこにあるか」の問いに、箱の中の位置関係(左右)を見取らせる。

箱のどこ：左右の位置を捉えて言葉で表現させる。絵を貼らせ、箱の中の位置(左右)を言わせる。

何がどこにあるかの問いに答えさせる。言葉を貼り、何がどこにあるかを話させる。

ステップ3 説明文を基に絵や言葉に表して、伝える活動

[どのおぼんに どんなおやつがありますか。]



問いに対する答えを読み取らせる。おぼんとのっているおやつに着目させて、読ませる。

問いの答えを挿絵と言葉で表現させる。おぼんにのっているものを言わせる。

問いに対する答えを絵と文で表現させ、伝え合わせる。

